

# 産科婦人科

## 1. 基本研修体制

産婦人科臨床研修は、学内および学外の関連病院で研修を行う。さらに選択期間を利用することにより専門性の高い研修も可能である。

学内研修では、周産期科、婦人科、生殖医療の3つの診療グループをローテーションし、プライマリケアにおける産婦人科の基本的診察能力を習得する。

女性の生理的、形態的、精神的特徴、あるいは特有の病態を把握しておくことは他領域の疾病に罹患した女性に対して適切に対応するためにも必要不可欠なことであり、社会における女性の役割を認識した上での患者としての女性を見る力を養うことにより、患者、医療スタッフとの良好な関係を確立できる社会人としての医師を育てることを目標としている。

## 2. 研修目標

### 1) 一般目標

- (1) 女性特有の疾患による救急医療を研修する。

卒後研修目標の一つに「緊急を要する病気を持つ患者の初期診療に関する臨床能力を身につける」とあり、女性特有の疾患に基づく救急医療を研修する必要がある。これらを的確に鑑別し初期治療を行うための研修を行う。

- (2) 女性特有のプライマリケアを研修する。

思春期、性成熟期、更年期の生理的、肉体的、精神的変化は女性特有のものである。女性の加齢と性周期に伴うホルモン環境の変化を理解するとともに、それらの失調に起因する諸々の疾患に関する系統的診断と治療を研修する。これら女性特有の疾患を有する患者を全人的に理解し対応する態度を学ぶことは、リプロダクティブヘルスへの配慮あるいは女性の QOL 向上を目指したヘルスケア等、21 世紀の医療に対する社会からの要請に応えるもので、全ての医師にとって必要不可欠のことである。

- (3) 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。

妊娠分娩と産褥期の管理ならびに新生児の医療に必要な基礎知識とともに、育児に必要な母性とその育成を学ぶ。また妊産褥婦に対する投薬の問題、治療や検査をする上での制限等についての特殊性を理解することは全ての医師に必要なものである。

### 2) 行動目標

- (1) 周産期グループにおいての研修は、妊娠・分娩・児の胎児期から新生児期への適応を、母体側からみた生理現象の一つとして理解し、随伴して発生してくる様々な病態に対して適切な判断が下せることを目標としている。つまり妊娠・分娩は女性特有の生理現象であり、2つの生命を同時に扱う特殊性の理解・修得を目標としている。初期研修の目標としては、正常妊娠・分娩の診察法・管理を学び、正常胎児・新生児の診察法・管理を学ぶことである。つまり妊娠・分娩は女性特有の生

理現象であり、2つの生命を同時に扱う特殊性の理解・修得を目標としている。

次に後期研修の目標としては、妊娠に発生する偶発合併症・合併症妊娠の取り扱いと、胎児を患者のひとりとして捉え、新生児期に移行する過程の胎児・新生児学の修得が挙げられる。

(2) 婦人科グループにおける研修は、主として婦人科悪性腫瘍に対する診断と治療の理論およびその技術を学ぶことにあり、細胞診組織診断技法、骨盤内臓器解剖の知識、さらに術前術後の患者管理や基本的な婦人科手術の技術の修得を目標とする。さらに抗癌剤の使用法および腹腔鏡手術の実際を経験し、エビデンスに基づいた適切な利用法を学ぶことを主眼とする。

(3) 生殖医療グループにおいては、難治性の不妊患者に対するアプローチ法の充実に図り、コストとベネフィットを勘案した最適な治療法の提示を可能にできる能力を身につけられることを目標とする。具体的には不妊原因の診断、基本的な排卵誘発法の理論と方法、発生生物学の理論に基づいた体外受精を中心とする微細医療技術の修得を目指す。またこの分野では特に患者に対する医療面接技術も心的サポートとして重要であり、この部分の技術習得も重要な課題の1つであると考えている。

### 3. 週間スケジュール

#### 1)産科

|    | 月曜日  | 火曜日 | 水曜日                                     | 木曜日                  | 金曜日                     |
|----|--|-----|---|----------------------|-------------------------|
| 午前 | 産科病棟<br>産科外来                                 | 手術  | 産科病棟<br>産科外来                            | 手術                   | 産科病棟<br>産科外来            |
| 午後 | 総回診<br><br>産科病棟<br><br>症例検討会<br>抄読会<br>研究発表会 | 手術  | HRP カンファレンス<br><br>産科病棟<br>NICU カンファレンス | 手術<br><br>手術<br>術後管理 | 産科病棟<br><br>産科病棟<br>CPC |

#### 産科当直

- 1) 分娩、緊急患者、緊急手術には随時立ち会う。
- 2) 副当直を週1回以上行う。

2)婦人科

|    | 月曜日                                       | 火曜日 | 水曜日                             | 木曜日 | 金曜日                        |
|----|---|-----|---------------------------------|-----|----------------------------|
| 午前 | 婦人科病棟<br>一般婦人科外来<br>(不妊外来)                | 手術日 | 婦人科病棟<br>一般婦人科外来<br>(更年期外来)     | 手術日 | 婦人科病棟<br>一般婦人科外来<br>(腫瘍外来) |
| 午後 | 総回診<br>婦人科病棟<br><br>術前検討会<br>抄読会<br>研究発表会 | 手術日 | 総回診<br><br>(CPC、細胞診<br>カンファレンス) | 手術  | 婦人科病棟                      |

婦人科当直

- 1) 緊急患者、緊急手術、緊急検査には随時立ち会う。

産科婦人科指導責任者 千石 一雄 教授  
 片山 英人 講師  
 西脇 邦彦 講師  
 指導教員数 計：10名